

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 20 日現在

機関番号：84419

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2009～2013

課題番号：21320034

研究課題名(和文) 物語・説話における絵画化の起源と変容の研究—日本近世刊本・写本を中心に

研究課題名(英文) A study on the origin and transformation of the painting of narrative : With a focus on the illustrated books of the Edo era

研究代表者

浅野 秀剛 (Asano, Shugo)

公益財団法人大和文華館・その他部局等・その他

研究者番号：70511137

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,700,000円、(間接経費) 4,110,000円

研究成果の概要(和文)： 物語の絵画化をめぐる諸問題について、物語・和歌系、説話・仏典系、童蒙・勸戒系の三つのグループを中心に研究を進めてきた。特に、『徒然草』と、能・幸若舞・歌舞伎といった舞台芸能のテキストの絵画化をめぐることは、シンポジウムを開催し、国文学・美術史、双方の立場から発表・議論を行い、その問題点や特色について理解を深めることができた。

2013年度末には、これまで5年間に行った研究会、シンポジウム、展覧会の成果を報告書にまとめた。

研究成果の概要(英文)： We have studied about the problems on the painting of narrative, focusing on three groups, Monogatari and Waka, Setsuwa and Butten, Domo and Kankai. We hosted a symposium especially on the painting of "Tsurezuregusa" and on the painting of performing art, such as No, Kowakamai and Kabuki. Scholars of Japanese literature and Japanese art history had the discussion on the symposiums and we cultivated a better understanding about the problems.

We compiled the results of study meetings, symposiums and exhibitions on the report at the end of the 2013 year.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学 美学・美術史

キーワード：物語 絵画 文学 美術

1. 研究開始当初の背景

「物語と絵画」の関係、あるいは「物語の絵画化」全般の研究は、すでに戦前から研究が行われており、基礎資料の充実、研究方法の確立が美術史系、テキスト系両領域において個別に展開しながらも、美術史・国文学の境界にある「テキストの絵画化」の問題は、まだ十分に両者の共同が実現しているとは言えない。特に美術史分野では、ようやく基礎資料の整理が進んできた状態と言ってよい。こうした背景の中、美術史・国文学双方の視点を持ち合わせて研究することの必要性があると考えた。

2. 研究の目的

本研究は「物語・説話における絵画化の起源と変容の研究 日本近世刊本・写本を中心に」と題し、物語や説話のどの部分がどのように絵画化され、いかなる過程で特定の画題・主題へと変容していくのかを、主に近世絵画において、刊本・写本テキストや挿図等冊子体の資料を中心に考察したものである。それらの主題・画題が、特定のモチーフ(景物)へと典型化、シンボル化する様相も合わせて研究する。日本絵画における膨大な画題・主題の、基礎資料となる研究が目的である。

3. 研究の方法

分野ごとに専門を分担し、テキストの絵画化における総体的変化の研究を目指す。具体的には、その内容を、物語・和歌系、説話・仏典系、勸戒・童蒙訓系の3系統に分類し、テキスト系と絵画系の各専門家がそれぞれの分担分野を調査研究し、定期的に研究会を開いて成果を検討する。

4. 研究成果

物語の絵画化をめぐる諸問題について、物語・和歌系、説話・仏典系、勸戒・童蒙訓系の三つのグループを中心に研究を進めてきた。

1 作品調査について

毎年、国内外の美術館において物語絵作品の調査を行い、具体的な作品の考察を深めた。特に、2010年度のチェスター・ビーティー・ライブラリーと大英博物館の調査では、二つの大きな成果があった。一つは、江戸時代前期の奈良絵本工房を考える上で基準となる作品群を複数設定することができたこと。もう一つは絵双六が絵半切に改変される例が明らかになったことである。

2 研究会・シンポジウムについて

各々の研究の成果は年2回の研究会で発表し、各分野の専門を反映した意見交換を行った。また、特に『徒然草』の絵画化と、能・幸若舞・歌舞伎といった舞台芸能のテキストの絵画化をめぐることは、シンポジウムを開催

し、国文学と美術史、双方の立場から発表・議論を行った。その成果として、絵画にテキストがどのように描かれているのかを詳細に読み取ることにより、当時のテキスト理解・解釈のあり方がより明瞭になることや、絵画がテキストの解釈を踏まえて描かれるだけでなく、絵画制作を担当した絵師や工房の持つ絵手本の中より内容に適した構図が選択されることを考慮しなければならないことなどを、具体例を挙げつつ示すことができ、テキストの絵画化の問題点や特色について理解を深めることができた。

3 展覧会について

研究の内容と成果は、「物語と絵画」(2009年8月21日~9月27日 於:大和文華館)、「文学史からみた貴重書」(2010年10月1日~12月28日 於:大阪府立大学学術情報センター図書館)、「文学と美術の出会い」(2013年11月22日~12月26日 於:大和文華館)といった展覧会を通じて広く一般に公開することができた。

4 報告書について

2013年度末には、これまで5年間に行った研究会・シンポジウム・展覧会の成果を報告書にまとめた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 9件)

田中宗博「『春日権現験記絵』と『中外抄』をめぐる一考察 東三条邸に出現した天狗、そして覚鑿」、『百舌鳥国文学』21、査読無。2010年、1 - 20頁

中部義隆「新収品紹介 春秋鷹狩茸狩図屏風」、『大和文華』122号、査読有、2010年

古川攝一「新出マニ教絵画試論」、『大和文華』121、査読有、2010年、35 - 52頁

浅野秀剛「大森善清絵本の後修本」、『浮世絵芸術』162、査読有、2011年、49 - 72頁

大平桂一「夢林玄解の成立 霊なす証言」、『中国文学報』82、査読無、2013年、36 - 56頁

青木賜鶴子「萩原広道『源氏物語註釈』の版本と出版(続)」、『上方文化研究センター年報』15、査読無、2014年、41 - 46頁

河野道房「『君台観左右帳記』と中国品第論」、『美学芸術学』29、査読無、2014年、21 - 34頁

西田正宏「大和文華館の鈴鹿文庫」、『上方文

化研究センター年報』15、査読無、2014年、45 - 57頁

田中宗博「『古今著聞集』「魚虫禽獸」篇の混沌をどう読むか」、『百舌鳥国文』25、査読無、2014年、47 - 60頁

〔学会発表〕(計 3件)

瀧朝子「韓国国立中央博物館所蔵 金銀製小仏龕に関する一考察」密教図像学会、於四国大学、2010年12月11日

古川攝一「柿本宮曼荼羅(大和文華館蔵)の制作をめぐる」大画面説話画の総合研究海外シンポジウム「中世日本の信仰と造形」、於ハーバード大学、2010年3月11日

大平桂一「明代夢文化研究のパーспекティブ」京都大学中国文学会第28回例会、於京都大学、2013年7月20日

〔図書〕(計 6件)

浅野秀剛『浮世絵は語る』講談社、2010年、252頁

鈴木淳、浅野秀剛 他『江戸の絵本 画像とテキストの綾なせる世界』八木書店、2010年、504頁(18)

鈴木健一・西田正宏 他『浸透する教養 江戸の出版文化という回路』勉誠出版、2013年、456頁(339 - 360)

宮崎もも『名品鑑賞3 大和文華館の物語絵』大和文華館、2014年、96頁

佐野みどり、加須屋誠、藤原重雄、古川攝一 他『中世絵画のマトリックス』青簡社、2014年、636頁(566 - 594)

浅野秀剛 他『物語・説話における絵画化の起源と変容の研究 日本近世刊本・写本を中心に』大和文華館・大阪府立大学。2014年、84頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：

発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

浅野 秀剛 (ASANO, Shugo)
大和文華館・その他部局・その他
研究者番号：70511137

(2) 研究分担者

中部 義隆 (NAKABE, Yoshitaka)
大和文華館・その他部局・その他
研究者番号：70416262

瀧 朝子 (TAKI, Asako)
大和文華館・その他部局・その他
研究者番号：90416264

宮崎 もも (MIYAZAKI, Momo)
大和文華館・その他部局・その他
研究者番号：10416266

古川攝一 (FURUKAWA, Shoichi)
大和文華館・その他部局・その他
研究者番号：70463297

植松瑞希 (UEMATSU, Mizuki)
大和文華館・その他部局・その他
研究者番号：70610335

西田正宏 (NISIDA, Masahiro)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号：00305608

大平桂一 (Odaira, Keiichi)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号：50194197

徳原賜鶴子 (TOKUHARA, Shizuko)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号：60180139

田中宗博 (TANAKA, Munehiro)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号：80217083

河野道房 (NISIDA, Masahiro)
同志社大学・文学部・教授
研究者番号：90195678

山中浩之 (YAMANAKA, Hiroyuki)

研究者番号 : 80158245

塚本磨充 (TSUKAMOTO, Maromitsu)

東京国立博物館・その他部局・その他

研究者番号 : 00416265